

部活動のあるべき姿について ～県内の部活動の現状から～

富山県高等学校体育連盟
研究部(第3部会)

1. はじめに

部活動を活性化するには、生徒の活発な活動と、それをサポートする指導者の活動が必要。



2. アンケートについて

- ・参加校 富山県内54校
- ・回答 運動部顧問715名
- ・実施期間 平成27年11月

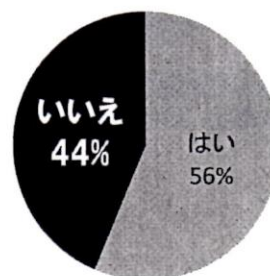


3. アンケートの結果(考察)

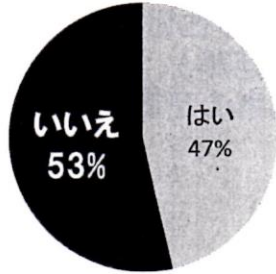
1. 指導の専門性
2. 活動の現状
3. 活動目標

1. 指導の専門性について

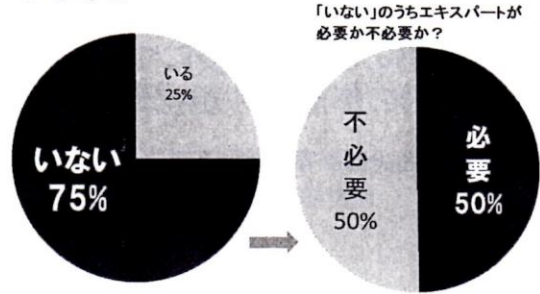
①顧問をしている部活動は専門としている種目ですか？



②専門とする部活動の顧問になりたいですか？



③部活動にスポーツエキスパートはいますか

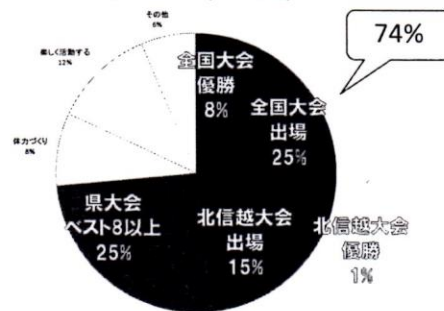


④必要な理由

- 技術指導
(陸上部などの個人競技種目が多く個別指導をするため・戦術などを共有できるエキスパートコーチなど)
- 大会参加のための帯同審判として
- フィジカルトレーニングなどの専門的な指導
- 校務のため部活動を見る時間が少なくなったため

他

⑤目標(生徒)



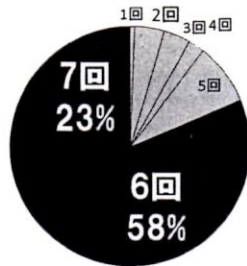
⑥まとめ1

- 顧問の先生は与えられた部活動で頑張ろうとしている。
- 生徒のほとんどが勝ちたいと思っており、指導できない時は、エキスパートが必要になってくる。



活動の現状について

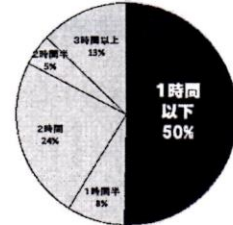
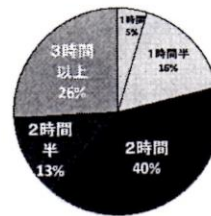
①練習の回数(1週間のうち)



②1日の平均練習時間(平日)

平日の練習時間

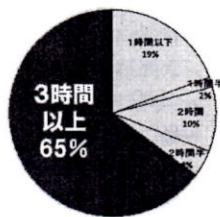
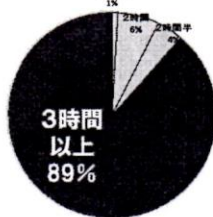
平日の指導時間



③1日の平均練習時間(土日)

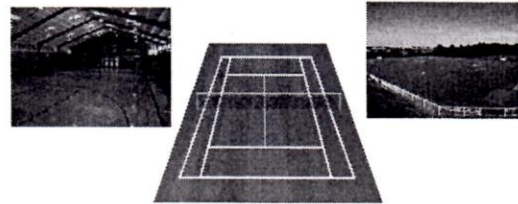
休日の練習時間

休日の指導時間

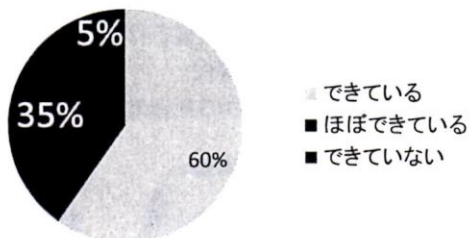


④練習場所の確保

- 顧問の先生の練習への参加もそうであるが、練習場所の確保も選手の練習のモチベーションを上げる大切な要素だと考える。

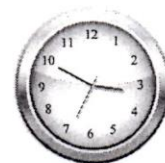


⑤練習場所が確保できるか



まとめ2-1

- 1週間でおよそ6日間、1日の活動時間では平日2時間前後、土日は3時間程度で適切な時間で実施されている。
- 平日は校務等で充実した指導ができていないことがある。



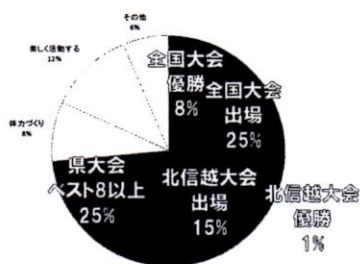
まとめ2-2

- 限られた施設の中で、各学校それぞれで工夫をして活動をしている。
- 冬場の活動場所の問題があげられる。



目標設定について

3-8. 目標(生徒)



3-8. 目標(先生)

- 先生の目標で多かったもの。
 - 試合で勝つ
 - 技術向上
 - 人間形成
 - 3年間部活動を続ける
 - 楽しく活動する
 - 全力で取り組んだことしか得られないものを体得
 - 団体行動の規律など守れる人になってほしい

まとめ4

- 生徒の目標は大会で勝つことである。
- 先生の目標は人間形成が、勝利につながると考えている。
- 今後、勝つことの大切さと、人間形成が繋がっていることをお互いに再認識しなければならない。



結論

- エキスパート制度の充実化
- 部活動へ行きやすい環境を作る。
- 冬季の活動場所の確保
- 顧問と生徒の考え方の共通理解

